

.....Retrospect 9 for Mac  
ユーザーズガイド付録

© 2011 RYfcgdYWzobW All rights reserved.

Retrospect 9 ユーザーズガイド第 1 版本製品（ソフトウェア）は、インストーラで表示した使用許諾契約に同意される場合にのみご使用いただけます。ライセンス許諾契約に明記されている場合を除いて、ソフトウェアのインストール、コピー、またはその他の目的で使用することはできません。Retrospect は、米国および / またはその他の管轄区域において RYfcgdYWzobW およびその子会社が所有する商標または登録商標です。その他の商標は、該当する権利所有者の所有物です。

---

# はじめに

---

この Retrospect ユーザーズガイド付録では、Retrospect 9 の新機能について説明します。Retrospect の操作全般、および Retrospect を使用して保護するコンピューティングシステムについて知識があることを前提に書かれています。Retrospect の詳しい使い方については、Retrospect 8 ユーザーズガイドを参照してください。

## このガイドでは

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ユーザー始動によるバックアップと復元 .....           | 4  |
| クライアント環境設定の改善 .....                | 6  |
| クライアントの機能と環境設定をロックする.....          | 8  |
| Mac OS 10.7 のサポート .....            | 9  |
| ネットワーク共有を追加する .....                | 9  |
| WebDAV 共有のサポート.....                | 9  |
| バックアップ、コピー、復元アシスタントに選択ツールを追加 ..... | 11 |
| 過去のバックアップの内容をフィルタリングする .....       | 11 |

## クライアント ソフトウェアの改良点

Retrospect クライアント ソフトウェアを使用すれば、個人のユーザーでもコンピュータ上で実行するバックアップおよび復元操作をコントロールすることができます。Mac クライアント ソフトウェアは Retrospect 9 で改良されています。主な変更点は次の通りです。

- ユーザー始動によるバックアップと復元
- オプションを改善し、使いやすく整理した環境設定パネル
- メニューバーアイコンとステータスメニュー



**注：** Retrospect システム管理者は、一部の機能へのアクセスを制限する権限を持っています。詳細については、8 ページのクライアントの機能と環境設定をロックするを参照してください。

## ユーザー始動によるバックアップと復元

Mac ユーザーは、デスクトップから直接ファイルを復元したり、バックアップを要求することができるようになりました。

Retrospect クライアント ソフトウェアのインストールが完了すると、Retrospect アイコンがメニューバーに追加されます。このアイコンをクリックするとメニューが開き、バックアップまたは復元操作を開始することができます。



### ユーザー始動によるバックアップ

一部のファイルまたはフォルダをすぐに保護したい場合は、このバックアップ方法が最適です。この方法は定期的なバックアップの代替方法ではなく、コンピュータのフルシステムバックアップを実行する場合には使用できません。

**ユーザー始動によるバックアップを実行するには：**

- 1 メニューバーの Retrospect アイコンをクリックします。
- 2 **今すぐバックアップ**を選択します。
- 3 「ファイルとフォルダをバックアップ」ダイアログで、バックアップ対象の項目を選択します。
- 4 **バックアップ**をクリックします。

ユーザー始動によるバックアップに関する注意事項：

- 「今すぐバックアップ」および「ファイルを復元」メニュー項目は、クライアントコンピュータが Retrospect サーバ（これらのオプションが有効になる）にログインするまで、非アクティブです。
- デフォルトでは、バックアップされたファイルとフォルダは Retrospect コンソールの環境設定でシステム管理者が選択したメディアセットに保存されます。メディアセットは、**バックアップオンデマンド**ポップアップリストで選択できます。

### ユーザー始動による復元

復元は、クライアントコンピュータのメニューバーから、または環境設定ペインの履歴タブにある「復元」ボタンをクリックすると、開始できます。詳細については、7 ページの **履歴環境設定** を参照してください。

**Mac クライアントからユーザー始動による復元を実行するには：**

- 1 クライアントコンピュータのメニューバーで Retrospect アイコンをクリックします。
- 2 **ファイルを復元** を選択します。
- 3 「ファイルとフォルダを復元」 ウィンドウのポップアップメニューで復元したいファイルを含むバックアップを選択します。バックアップに含まれるファイルとフォルダが Retrospect に表示されるまで、少し時間がかかる可能性があります。
- 4 復元するファイルまたはフォルダを選択します。
- 5 **復元** をクリックします。
- 6 すでにある場所にファイルを復元する場合、確認ダイアログが表示されます。別の場所を選択するには、**参照** をクリックします。続行するには、**復元** をクリックします。

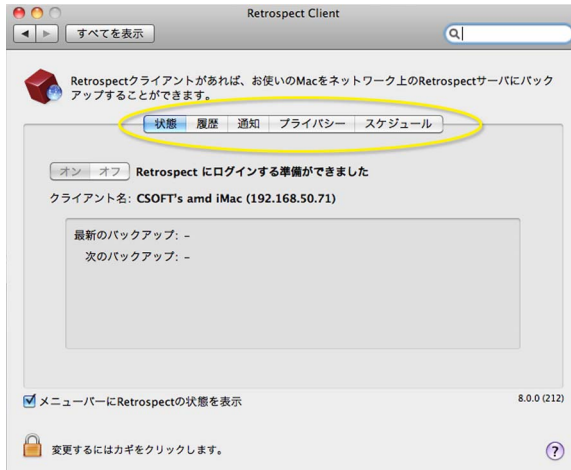
## クライアント環境設定の改善

Retrospect クライアントの環境設定は、以下の方法でアクセスできます。

- メニューバーの Retrospect メニューアイコンをクリックします。**Retrospect クライアントの環境設定を開く**を選択します。
- Dock のシステム環境設定をクリックします。Retrospect クライアントアイコンをクリックします。
- Apple メニューで、**システム環境設定**を選択します。Retrospect クライアントアイコンをクリックします。

### クライアント環境設定を設定する

環境設定は、ステータス、履歴、通知、プライバシー、スケジュールのカテゴリに分類されています。カテゴリボタンのいずれかをクリックして、各設定にアクセスします。



環境設定については、以下で詳しく説明します。

### ステータス環境設定

- **オン/オフ** : 「オン」および「オフ」ボタンは、バックアップコンピュータからクライアントへのアクセスをコントロールします。クライアントコンピュータが起動すると、アクセスはオンに設定されています。アクセスを無効にするには、**オフ**をクリックします。
- **クライアント名** : Retrospect で使用されるクライアント名とクライアント IP アドレスが表示されます。
- **ステータス領域** : 最新バックアップと次のバックアップに関する情報が表示されます。バックアップが実行中の場合は、進捗バーが表示されます。

## 履歴環境設定

- **履歴領域**：ディスクベースのバックアップが一覧表示されます。各行にバックアップに関する情報と「復元」ボタンが表示されます。緑のアイコンはバックアップが正常に完了したことを示します。黄色のアイコンは、バックアップの1つ以上のファイルで問題が発生したことを示します。赤のアイコンはバックアップに失敗したことを示します。これらのバックアップのいずれかを使用して復元操作を開始するには、対応する**復元**ボタンをクリックします。

## 通知環境設定

- **バックアップ後に通知**：バックアップやその他の操作が完了すると、メッセージを表示します。
- **N日間バックアップがない場合、通知する**：入力ボックスで指定した日数、クライアントがバックアップされていない場合、メッセージを表示します。
- **SMART エラーを報告する**：Retrospect がクライアントの SMART ハードドライブのボリュームでエラーを検出すると、「プロアクティブバックアップ」（使用可能な場合）からのバックアップを要求します。この設定は、デフォルトではオフになっています。

## プライバシー環境設定

- **プライバシー領域**：この領域には「プライベート」として指定されたファイルやフォルダを表示します。「プライベート」ファイルは、Retrospect サーバで非表示で、バックアップされません。このパネルにファイルやフォルダをドラッグすると、プライベートして設定されます。
- **追加 / 削除ボタン**：プライバシーリストにファイルやフォルダを追加するには、**追加**ボタンをクリックして、追加したいファイルまたはフォルダまでナビゲートします。リストから項目を削除するには、「除外」領域で項目を選択し、**削除**ボタンをクリックします。
- **システムのファイルへの変更を許可する Retrospect (復元に必要)**：このオプションを選択解除すると、クライアントをバックアップすることはできませんが、クライアントのファイルをバックアップコンピュータによって復元、修正、または削除することはできません。この設定は、デフォルトではオンになっています。



**注**：Mac クライアントソフトウェアの旧バージョンでは、ファイル名の先頭または末尾に黒丸を付けると、プライベートして指定することができました。この方法は新バージョンではサポートされていません。この方法で印をつけたファイルをプライベートのままにするには、Mac の検索ツールで黒丸を含むファイル名を見つめます (Option-8)。検索結果ペインから希望するファイルをプライバシーペインまでドラッグします。

## スケジュール環境設定

- **[date & time] の後までプロアクティブバックアップを延期する**：指定した時刻または日付まで、クライアントコンピュータのバックアップが実行されません。最大で現在の時刻から1週間後まで設定できます (時刻および日付をクリックして、数字を入力するか、矢印をクリックして変更します)。

## クライアントの機能と環境設定をロックする

Retrospect システム管理者には、ユーザー側で一部のクライアント設定を変更できないように設定する権限があります。たとえば、ユーザーがコンピュータをバックアップしないように権限を設定することができます。

システム管理者にとって最も効率的なワークフローは、標準のロックアウト環境設定を確立し、クライアントごとに必要なカスタム化を適用していく方法です。以下にその手順を説明します。

**デフォルトのロックアップ環境設定を設定するには：**

- 1 ロックアウトコントロールは、Retrospect コンソールにあります。Retrospect > **環境設定** を選択し、**クライアント** タブをクリックします。
- 2 「クライアントに以下の操作を許可する」：セクションで、以下の環境設定のいずれかを変更します。
  - **Retrospect クライアント ソフトウェアをオフにする**：これをチェックすると、Retrospect サーバでクライアントを非表示にすることができます。サーバとクライアントの通信はすべて切断されます。クライアントがオフの間、バックアップスケジュールはスキップされます。
  - **バックアップの実行を停止する**：これをチェックすると、進行中の操作を停止することができます。
  - **バックアップから項目を除外する**：これをチェックすると、ファイル、フォルダ、ボリュームをプライベートしてマーキングし、Retrospect で非表示にすることができます。
  - **読み込みアクセスのみを設定する**：これをチェックすると、Retrospect でコンピュータ上のファイルに書き込み、または削除できなくなります。
  - **オンデマンドでバックアップ**：これをチェックすると、ポップアップメニューで選択したディスクメディアセットへのオンデマンドバックアップを開始することができます。
  - **オンデマンドで復元**：これをチェックすると、使用可能なディスクメディアセットからオンデマンドで復元を開始することができます。

**各クライアントのデフォルト環境設定をカスタマイズするには：**

- 1 ソースを Retrospect コンソールサイドバーから選択します。
- 2 リストからクライアントを選択します。
- 3 オプションタブをクリックします。
- 4 このクライアントの環境設定を希望に応じて変更します。
- 5 カスタマイズしたい各クライアントについて、手順 1 から手順 4 までを繰り返します。



## その他の改良点

Retrospect 9 には以下の追加機能が新たに搭載されています。

### Mac OS 10.7 のサポート

Retrospect コンソールアプリケーションおよび Retrospect クライアント ソフトウェアはいずれも、Mac OS X 10.7 Lion と Mac OS X 10.7 Lion Server をサポートしています。サポートされるオペレーティングシステムの一覧については、Retrospect の「お読みください」を参照してください。

### ネットワーク共有を追加する

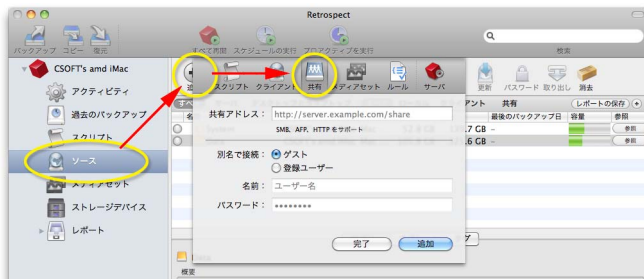
ネットワーク共有はバックアップしたり、バックアップ先として使用することができます。共有を識別し、プロジェクトに追加する手順がこれまでより簡単になりました。

共有をソースとして追加するには：

- **ソース > 追加 > 共有** をクリックします。共有のアドレスと必要なログイン情報を入力します。

共有をバックアップ先として追加するには：

- **メディアセット > 追加 > 共有** をクリックします。共有のアドレスと必要なログイン情報を入力します。



### WebDAV 共有のサポート

WebDAV は HTTP プロトコルを拡張し、Web サーバに保存されているファイルの共有化や共同編集を可能にします。Retrospect 9 では WebDAV 共有はバックアップすることも、バックアップを保存に使用することもできます。

## タグでソースを検索する

ソースフィルターにタグ条件が加わり、Retrospect 9 のキーワードタグ検索はこれまでより強力になりました。たとえば、組織内のポータブルコンピュータすべてに「ノートパソコン」というタグが付けられたとします。この場合の検索方法を以下に説明します。

「ノートパソコン」のタグでソースを表示するには：

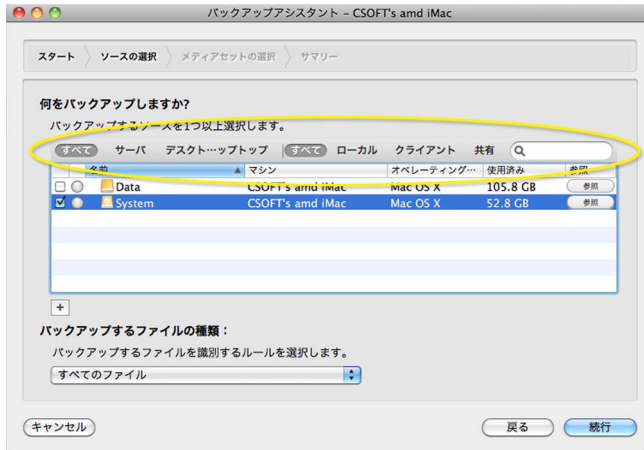
- 1 サイドバーでソースをクリックします。
- 2 「レポートを保存」ボタンの隣にあるプラス記号 (+) ボタンをクリックすると、フィルターツールバーが表示されます。
- 3 左端のドロップダウンリストをクリックして、**タグ**を選択します。
- 4 次のドロップダウンから **次を含む**を選択します。
- 5 テキスト入力フィールドにノートパソコンと入力し、**Return** キーを押します。

「ノートパソコン」タグのついたソースがすべて表示されます。



## バックアップ、コピー、復元アシスタントに選択ツールを追加

この3つのアシスタントには、素早く選択できる範囲バーと検索ボックスが含まれています。ツールは検索結果ペインのすぐ上にあります。以下の図にバックアップアシスタントのいずれかにおける範囲バーを示します。



## 過去のバックアップの内容をフィルタリングする

過去のバックアップの内容を見直す場合、最新セッションの内容のみ表示させるオプションが追加されました。過去のバックアップ名をダブルクリックすると、最初のリストパネルが開かれます。リストにフィルタをかけるには、このバックアップ中にコピーされたファイルのみ表示チェックボックスを表示します。

